

# 淀川水系河川整備計画策定にむけての説明資料(第1稿)について

## 概要版

### ダム

#### 現状の課題

- 淀川水系のダム群(天ヶ瀬ダム、瀬田川洗堰、高山ダム、青蓮寺ダム、室生ダム、布目ダム、比奈知ダム、日吉ダム、一庫ダム)は、社会要請に応えるべく、治水、利水に対し、その役目を果たしてきました。
- その反面、河川的环境や生態系に影響を与えているのも事実です。また、ダムの建設は広範囲にわたる水没を伴い地域社会に大きな影響を与えました。

#### 今後の整備に向けて

- 他に経済的にも実行可能で有効な方法がない場合に、ダム建設に伴う社会環境、自然環境への影響を軽減する方策も含め、他の河川事業にもまして、より慎重に検討した上で、妥当と判断される場合のみ実施します。
- 現在事業中の5ダム(大戸川ダム、天ヶ瀬ダム再開発、川上ダム、丹生ダム、余野川ダム)は、上記の考え方にもとづき見直しを行っています。

### 住民参加

#### 現状の課題

- 住民が安心して暮らせる社会の実現を目指して、河川管理者が主体となって河川の整備を行ってきました。
- 今後の河川整備は、河川管理者のみによる河川内での対応では限界があります。したがって、単に川だけでなく流域一体となった対応が重要です。
- 河川管理者、自治体、企業、住民等流域のあらゆる関係者が連携し協働することが大切です。

#### 今後の整備に向けて

- 情報の公開と共有を進めます。
- 河川整備を進める様々な場面で、住民が参加し、意見を述べ、行動できる仕組みを作っていきます。



国土交通省 近畿地方整備局 猪名川工事事務所  
国土交通省 近畿地方整備局 猪名川総合開発工事事務所

お問い合わせは…猪名川工事事務所 河川整備計画説明会 係 TEL.072-751-1111

### 河川環境

#### 現状の課題

- これまでの堤防や河川敷等の整備、ダム、堰などの建設により、川の横断方向、縦断方向が分断されるとともに、瀬・淵の減少など生物にとってすみにくい川となっています。
- 堰やダムによる水量・水位調節によって川本来の水位変動や攪乱を減少させ、川らしさがなくなりました。
- 近年では以前よりも水質が改善されましたが、水に親しんでいた頃のレベルにまで回復していません。

#### 河川形状

■コンクリート護岸による生物の生息・生育環境の不連続



#### 河川形状

■猪名川、藻川の堰・床固設置状況

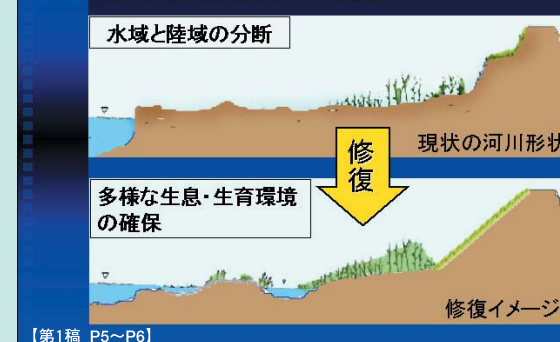


#### 今後の整備に向けて

- 今後の河川改修は、横断方向、縦断方向の連続性の修復をめざすとともに、瀬と淵が形成されるなど、生物にとってすみやすい川の修復を図ります。
- 河川敷の切り下げ等により生物の生息・生育環境に大切な水辺への連続性を確保するなど、水際の改善を行います。
- 魚などの生物の移動が容易にできるよう河川横断工作物の改善を検討します。
- 生態系や水道水源として望ましく、安心して水辺で遊べる水質をめざします。

#### 河川形状

■横断方向の河川形状の修復の検討



#### 生態系

■汽水域干潟・ヨシ原の保全および再生の検討

